

前会長 退任のご挨拶

多摩地区特別支援教育研究会の取組

令和6年度会長 中川 義弘



多摩地区特別支援教育研究会の活動に対して、各市関係者、各校校長先生をはじめ先生方には、多大なるご理解ご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本研究会は、特別支援教育における教員の専門性の向上を図ること、多摩特研の行事へ取り組みや交流を通して子供たちの成長を図ることを主な目的として活動しています。昨年度は、夏期休業中を中心に5回の研修会を実施し、延べ約400名の教員が研修に参加しました。研修会後のアンケートからも意義深いものとなったことがうかがえました。研修内容の詳細は当ホームページの研究紀要をご覧ください。また、小学校、中学校別に行なわれた行事を通して子供たちの成長する姿がみられるものとなりました。



昨年度より本研究会のホームページを起ち上げ、文書の電子化等、経費削減と作業の効率化につながりました。また、中学校で行ってきたマラソン大会を12月実施に変更することで、熱中症の心配がなくなりました。今後、行事を行う会場の確保や教員の負担軽減、経費削減など、課題もみられますが、各部役員や地区委員の先生方は、自校での校務に加えて本研究会の取組をより良い方向に進めていくよう献身的に取り組まれています。

特別支援教育に関わるすべての子供たちの、より一層の成長の一助となるよう、各学校や自治体の状況、社会情勢の変化等も踏まえ、本研究会がより良い形で取組を進めていかれることを願っております。特別支援教育は一部の子供たちだけではなく、すべての子供たちを大切にする教員にとって必要な観点です。今後も本研究会に携われる方々の変わらぬご理解ご支援をお願い申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

